

“多くの実を結ぶ ～ニコデモに学ぶ～”

◆本日の聖書箇所 ・ヨハネ 3:1～16(新改訳聖書)

3:1 さて、パリサイ人の中にニコデモという人がいた。ユダヤ人の指導者であった。3:2 この人が、夜、イエスのもとに来て言った。「先生。私たちは、あなたが神のもとから来られた教師であることを知っています。神がともにおられるのでなければ、あなたがなされるこのようなしるしは、だれも行うことができません。」3:3 イエスは答えて言われた。「まことに、まことに、あなたに告げます。人は、新しく生まれなければ、神の国を見ることはできません。」3:4 ニコデモは言った。「人は、老年になっていて、どのようにして生まれることができるのですか。もう一度、母の胎に入って生まれることができますでしょうか。」3:5 イエスは答えられた。「まことに、まことに、あなたに告げます。人は、水と御霊によって生まれなければ、神の国に入ることができません。3:6 肉によって生まれた者は肉です。御霊によって生まれた者は霊です。3:7 あなたがたは新しく生まれなければならない、とわたしが言ったことを不思議に思ってはなりません。3:8 風はその思いのままに吹き、あなたはその音を聞くが、それがどこから来てどこへ行くかを知らない。御霊によって生まれる者もみな、そのとおりです。」3:9 ニコデモは答えて言った。「どうして、そのようなことがありうるのでしょうか。」

3:10 イエスは答えて言われた。「あなたはイスラエルの教師でありながら、こういうことがわからないのですか。3:11 まことに、まことに、あなたに告げます。わたしたちは、知っていることを話し、見たことをあかししているのに、あなたがたは、わたしたちのあかしを受け入れません。3:12 あなたがたは、わたしが地上のことを話したとき、信じないくらいなら、天上のことを話したとて、どうして信じるでしょう。3:13 だれも天に上った者はいません。しかし天から下った者はいます。すなわち人の子です。3:14 モーセが荒野で蛇を上げたように、人の子もまた上げられなければなりません。3:15 それは、信じる者がみな、人の子にあつて永遠のいのちを持つためです。」3:16 神は、実に、そのひとり子をお与えになったほどに、世を愛された。それは御子を信じる者が、ひとりとして滅びることなく、永遠のいのちを持つためである。

◆ニコデモという人

①地位・名声・・・ユダヤ人の指導者(ヨハネ 3:1)

政治、裁判、教育の中心機関であるユダヤ人議会 70 人の中の 1 人
今でいうと国会議員兼最高裁判所判事

②教育・・・イスラエルの教師(ヨハネ 3:10)

聖書を教える教師の事を“ラビ(先生)”と言った。ここで、主イエスはニコデモの事をラビではなく、“ラバン”と言っている。ラバンとは、ラビを教える教師を指す。現代的に言うならニコデモは大学教授のような立場であった。

③道徳・生活・・・パリサイ派(ヨハネ 3:1)

ユダヤ教の教えと、しきたりに厳格なパリサイ(分離)派に所属していた。パリサイ派の人々は、民衆からは、神に対して熱心で、敬虔な生活をする者として尊敬されていた。

④財産・・・没薬 30 キロをささげる事ができる(ヨハネ 19:38)

当時、大変貴重であった没薬(防腐剤) 30 キロ相当(国王の葬儀に使われる量)を買うことができるほどの財産をもっていた。

◆本日の説教のポイント

1: 私たちも、“素直に”教えを乞おう

私たちも年や経験を重ね、様々な肩書や財産を持つと、自分がよく分からない事、理解できていない事を他者に聞く事に抵抗を覚える。しかし、ニコデモは、自分からみれば年若く、立場もない主イエスのところに、教えを乞う為に訪ねてきた。ここに、彼の特筆すべき点がみられる。私たちがよく分からない事は、他者に素直に教えを乞うものとなる。

何よりも、聖書の教えや、主イエスご自身の事について、よく分からない時は、素直に主イエスに「教えて下さい」と祈り求め探し求めるものとなる。主イエスは、ニコデモの熱心な求道心に応え、まだ弟子たちにも教えていなかったご自身の十字架の死とその意味について教えられた。

私たちが祈り求めていくなら、主イエスは、聖書を読む中で、説教者の言葉を通して、様々な事柄を通して、私達にも必ず教えて下さる。

私たちが他者や、主イエスに素直に教えを乞う者となる。

2:私たちは、主イエスの福音を“語り続けよう”

主イエスご自身から十字架の死とその意味を教えられたニコデモであったが、すぐにその事を理解し、主イエスを信じ弟子となったわけではなかった。ニコデモが明確に主イエスへの信仰を表明したのは、この出来事から約3年後、主イエスの十字架の死を目撃した後であった。

(ヨハネ 19:38～42)

かつては人目を避け、夜こそこそと主イエスに会い、主イエスに教えられてもよく理解できなかったニコデモも、主イエスの十字架を見た時、かつて主イエスが語られた意味を真に悟り、誰の目にもはっきりと分かる形で主イエスへの信仰を表明した。そしてユダヤ人指導者、パリサイ派としての立場も、財産も主イエスにささげて、従っていく弟子となった。

私たちも主イエスの福音を人々に語っても、中々、分かってもらえない時もある。しかし、ニコデモのように後になって、主イエスに従っていく人がいる事を信じて、あきらめずに祈り続け、主イエスの福音を語り続ける者となろう。

●聖書の約束

みことばを宣べ伝えなさい。

時が良くても悪くてもしっかりやりなさい。第2テモテ 4:2

◆メモ・・・心に残った事、決心した事など
